



第2820地区

HITACHI SOUTH ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例会場 要害クラブ TEL(0294)36-2020
 例会日 毎週火曜日 12:00~13:00
 事務所 日立市末広町1-1-3 国分協同組合内
 TEL(0294)36-5074 FAX(0294)37-2176
 Mail: rotaso@iplus.jp



週報 No.7

http://www.xvi.co.jp/hitachi/south-rc/
 ■会長 木本 貴一 ■副会長 大森 孝之
 ■幹事 高島 章行 会報委員 山縣敏史 大森孝之 大神田正浩

本日の例会 平成21年8月25日(火) プログラム：家族同伴納涼・親睦活動委員会

次回例会 平成21年9月1日(火) プログラム：新世代奉仕委員会 ・ 卓話

例会報告

8月18日(火)12:00 開会
 小林 英典 SAA委員長

会長の時間

木本 貴一 会長

先週マイクロソフトとグーグルの話を少しさせていただきました。こんなに薄くて約1600円もする本が先日発売されて、後にDVDがついています。ダイヤモンド社から出たサッカーの本ですが、内容はDVDのほうが詳しいくらいです。ダイヤモンド社という出版社が映像を出すということのように、業種の編成が急激に変わってきていると思う。出版社というのは紙で出すという観念があるようで、DVDと解説の関係はどう見るか面白い。PCで作った原稿を印刷せずにFAXできる。それどころかEメールでただで送る。など変化してきてます。業種によって時代の変化は違いますが皆さんはどのように未来を見てますか。そのような投げかけで会長の時間とします。

幹事報告

高島 章行 幹事

来週の例会は家族同伴の夜間例会になっております。ポリオの募金のオークションも実施いたします。日と家族1点の賞品のご提供願いたいと親睦川崎委員長から連絡がありました。今日の例会終了後パスト会長会議を開きます。ハワイワイキキRCとの交流の件ですが、はやめにFAXで申し込みをしていただきたい。

委員会報告 社会奉仕鹿志村委員長

9月8日に社会奉仕活動としてたが駅前清掃を行います。市民の会や商店会の皆さんと行います。詳細はFAXいたします、ご参加のほどよろしく申し上げます。

烏帽子会

千葉幹事

県北の5ロータリーの親睦ゴルフ大会が9月12日にあります。締め切りが21日になっております。ご参加のほどよろしく申し上げます。

よかつぺ祭り

大森委員長

会員の白土さんは17代キャップであり私は18代、朝日さんは19代と日立南RCには歴代キャップが3人もいます。チケットの協力をお願いします。



鈴木キャップ

例会の貴重な時間をいただきましてありがとうございます。おかげ様でよかつぺまつりも36回目を迎えることが出来ました。今年のテーマは「スマイル」といことで、この不景気の中皆さんの笑顔が遠のいているような気がします。みんなに笑顔で集まっていただき笑顔で帰ってもらいたい。その思いから笑顔「スマイル」とさせていただきました。よかつぺまつりは、行政からの援助は無く1枚100円のお楽しみ券を売って成り立っております。ご協力のほど宜しくお願いします。この不景気で「今年はよかつぺまつりやんのか、今年は協力厳しいよ」とかの声もありました。各協力も厳しいとは思いますが、この不景気だからこそ笑顔があふれ、子どもたちの思い出になるようよかつぺまつりを続けたいと思います。

お楽しみ券の景品も素敵なものを用意してしますので協力よろしくお願ひいたします。

砂川サブキャップ

キャップが言ったことがすべてです。チケットの売上がすべてですご協力お願いします。



出席報告

小澤 興 委員長

会員数	出席	欠席	出席率	MakeUp	修正	免除
36名	22名	14名	61.1%	11名	94.4%	1名



ニコニコBOX

白石 満義 委員長

- ◎ 山本さん卓話よろしくお願ひします。
木本 貴一 岩崎 敬次 須田 晃
高島 章行
 - ◎ 本日もよろしくお願ひします。
池澤 健 小林 英典
 - ◎ 山本様本日はありがとうございます。よかっぺ
鈴木キャップ砂川サブキャップようこそ。
大森 孝之 石川 國博 信太 克己
千葉 省三
 - ◎ 3回目です。そろそろなれてきました。
朝日 正道 鎌田 栄
 - ◎ いつまで続くかタバコ止めてみました。
白石 満義
 - ◎ 宜しくお願ひします。 宮本 尚彦 埴 憲男
 - ◎ 中学高校の同窓会に出席してきました。私がい
ちばん若く見えました 鹿志村 高道
 - ◎ 山本善苦勞先生お忙しいところ卓話よろしく
お願ひします。よかっぺまつり鈴木キャップ、
砂川サブキャップご苦勞様です。ロータリアン
の皆様よかっぺチケットにご協力よろしくお
願ひします 白土 仙三郎
 - ◎ 帰省ラッシュで13日首都高速km夜中の1
AMで参りました。 小澤 興
 - ◎ 山本さん卓話よろしく。
小山 高一 山本 忠安 星 勝治
- 7月のラッキースマイル賞
小山 高一のコメントから星会員のご子息へ



😊 本日も多くの方からニコニコBOXへのご協力誠にありがとうございました。😊

本日計 28,000円	累計額 221,000円
-------------	--------------



会員増強 褒章

白土委員長



7月からの会員増強に協力していただいた4人に褒賞を贈りたいと思います。木本会長、大森会員、小林会員、おめでとうございます。年度当初に6名もの会員増強が出来ました。これからもこれ以上に会員の推薦宜しくお願ひします。



本日のプログラム

卓話

「ゴルフと人生」

山本 善苦勞 氏

会員増強 白土委員長

山本氏より、ゴルフを含めた人生論をお聞きしたい。プロフィールはご紹介の資料の通りです。

山本善苦勞氏



宜しくお願ひします。お手元の資料は一昨年にタウン誌に載ったものです。人物紹介をしたいからと新茨城タイムスの鈴木正樹さんからのインタビューでした。私のゴルフ観を凝縮した

ようなものです。

さて話の切り口としてゴルフのスイングのメカニズムから。たくさんの方がゴルフスイングはかくあるべきだという論が非常に多い。始める人からすれば戸惑いが多いのではないかと思います。私もあと3年でゴルフ歴も還暦を迎えます。クラブを握ってから57年、それまでさまざまなプロやトップアマ達などとプレーをしながら学んできました。結局のところは非常に単純明快、ペンデュラムシステムつまり時計の振り子のようなスイングに到達したわけです。

ちょっとマイクから離れますが見ていてください。



スイングでクラブに力を伝える唯一の部分はグリップです。最近ではグリップを強く握りとなりましたが、それはクラブのせいです。最近のクラブは強いほうが良いと勧められた方もいると思います。スイング自体は簡単なんです。構えてこのままの状態であげま

す。これを90度ねじってこの形になります。このときに右ひざが動いてない。構えたときのままの状態です。この二つのモーションを1回でやるだけです、バックスイングは。インサイドにとったのかアウトサイドにとったのか、非常に迷うところなんです。チェックポイントが一箇所あります。テイクバックをしたときクラブが水平になった時点でグリップエンドが打とうとするターゲットに向いていること、そしてクラブのフェイスが正面に向いていること。この時点でインサイドに引けばこっちへと、スクエアなスイングはあくまでも水平な形でグリップエンドは目標に向いている。絶対に手に力を入れないことです。時計の振り子は右に行ってそのまま左にいったとき同じリズムで動いているはずなんです。上げていったリズムでそのままおろしてくる。そして大きく振り切ってしまう。そうすると、多少握力が無くてもヘッドスピードが無くても案外ボールは飛ぶも

のです。体全体を使って打つことを憶えれば飛ぶもの

です。大事なのはこの形を身に付けてしまうことです。バックスイングをしてここからリリースポイントまでに力が入ると右肩が入りとんでもないほうへ行ってしまう。ダウンスイングの始まりは左のひざが動き出して下りてくるとレートヒッティングが出来るわけです。単純にそう考えていただければいいです。

話は変わりますが、ゴルフの発祥の地であるスコットランドでは「退屈で死にたくなるようなおりに人生を豊かにしてくれたのはお前だ。恋は一時、結婚はがまん、仕事はいつか辞めるときが来る。しかし俺にはゴルフがある。最高の伴侶が一緒だ。だから地べたに最初に穴を掘ったヤツをみんなで讃えよう」そんな戯れ歌があります。機会があってターンバレーとかに行きました。プレーはできませんでしたがコースを見ていると、すばらしい景観なんです。セントアンドリュースとは違った味わいがありました。自然のたたくまいのすばらしさに大変感銘を受けた記憶があります。



私自身ゴルフを離

れて自分の人生を考えることは出来ないくらいゴルフに打ち込んでしまいました。昭和27年アメリカのケミカルプラントの

メーカーの計算屋として連れて行かれ、ゴルフに縁のなかった私ですがそのときに紹介されました。他の人がコースでまわっている時に私は一人打つ練習です。ドライバーという言葉も聞き取れないまま硬いクラブを振ってました。3時間ぐらいは振って、手は豆だらけ血も出ました。ボールはまっすぐ行きませんでした。ひとつほめられたのは一回も空振りがなかったことです。ボールがかなり曲がるのを直すのにいろいろ言われました。そのあと練習グリーンでパッティングの練習もしました。今と思えば懐かしい光景として頭に浮かんできます。

縁があって郷里に帰ってきましたから昭和58年に会社を作りましたが、それまでミドルマネージャーはしましたが、トップリーダーの経験はありませんでした。トップリーダーというものは資質的にも機能的にもどんなものだろうかという疑問を何とかして解決したかった。そこで調べた結果、ある教授に教わったのですが、中国に体系づけられた帝王学があるからそれを読んではいかがかと。中国の知人に頼んで日本語に訳したレジメを取り寄せました。そのレジメにはトップリーダーというのはまず緊張感を持って仕事に取り組み。自己をコントロールしなさい。これは暴君か名君かの分かれ道でもある。部下の話に耳を傾けなさい。トップリーダーの資質は能力と徳と書かれていた。能力は知と勇気だと。知とは平たく言えば先見力。変化に対する対応力、それが知であると。徳と言うのは厄介です。一口に徳ということが出来るが、徳とはこういうことだよと答えられる人はまずいない。謙、寛、信、仁、勤、義、

これらがトップリーダーのキーワードだと、友人から添えられてきました。いつのまにかゴルフと自分の人間形成とつながって考えるようになってきました。それまでは特に目的意識を持ってゴルフをしていたわけではないのですが、何かしら仕事とゴルフを繋がって考えるようになりました。たとえば、NYで生まれた孫に会いに行ったときのこと、その時のNYの新聞でマレーという有名なコラムニストが「361歳の青春」というコラムを書いていた。マサチューセッツ州のレッドフォードカントリークラブに4人組がいる。マレーがこのコースを訪ねた時、支配人の案内をされ18Hで4人ともうまく乗せてきてパーをとってきたのをみた。何でもこのグループは98歳94歳85歳84歳、全部足すと361歳になる。この4人は別段数えたことは無いだろうが300回ぐらいのエージシュートをやっているだろうとのことでした。マレーは何でそういうことになるんだ。私はもっといろんなことに挑戦するとマレーが言うと、98歳の方が言うにはあれこれ手を出すのはよくないよ。物事はひとつ決めたら常に専念しないさいと。そのことが、私に大きな刺激を与えた。多くのゴルファーのエージシュートという大きな夢を現実のものとして与えてくれたのがこのコラムだったのです。

それからまもなく、フロリダのキーウエストでメキシコ湾にむかい釣りを楽しんだときのこと。ノーベル文学賞をとったヘミングウェイの居宅にも訪ねました。彼が文学賞をとった「老人と海」という本は午前中は釣りを楽しみ、午後は執筆をする。その釣りの中からおそらくあの小説は生まれたんじゃないかと思いました。この中で私が非常に感銘を受けたのが「人は自然との闘いの中で勇気を得る、社会に出て人との競争の中で英知を得る。」という言葉でした。きっとこの本は皆さんもお読みになられたことがあるでしょう。ゴルフは自然との闘いであり、自己との葛藤です。私にはこの言葉がある意味で光を当ててくれたようでした。

アメリカのJFケネディ大統領は就任演説の中で国民は国家に何かを求めるのではなく、国に対して何が貢献できるかを考えるべきといいました。このスピーチは全国民に対して多大な感銘を与えました。しかし、こういうことも言われている。ものを亡くせば小さなものを失う。信用をなくせば大きなものを失う。勇気を失えばすべてを失うと。勇気を亡くせば、情熱も萎えてしまいます。物事はすべて、情熱というパッションが基本になります。私はこの言葉にゴルフと関連付けて感銘を受けました。

ご承知のように、ゴルフのルールの基本理念というのは公正かつ公平でございます。正直であるということがゴルフの基盤なのです。若い頃、銀ブラをしていたときに偶然、銀座教会に入りました。「正直であれ恐れるな」という言葉がありました。ゴルフの経験からこの言葉の意味の深さというものを考えさせられました。

あるとき迷いに迷ってシャンクをどうやって直そうかと考えていた。なにげなく、山本周五郎の「樅の木は残った」を読んだ。その中で「たとえ天与の才人であっても、迷い、躓き、転び、血まみれ泥まみれにならないと本物の仕事は出来ない」という言葉を言

っております。せっかくゴルフをやろうと決心をしてある域まで達し、そこについても、千利休は習い事は一から始めて、十を知る。十までいって元にもどると言っています。原点に戻ってもう一度、自分の心身を極限まで追い込んでまで、試行錯誤を重ねようという決心をさせてもらいました。なにか志というのはそれに関わる知識を得て、不撓不屈の気力を持って努力をしていくことはまず大事なことだと思います。それをどういう風にたとえますと、それは並みのゴルファーです。さらに上位を望むならば自分の心身を極限状態まで追い込むぐらいの努力を積み重ねていく。あるとき偶然にある感覚がつかめるのです。その感覚を持続すれば、ゴルフに悟りが開けたということになるんですけど、実はこれは大変難しい。世界のゴルファーのタイガーウッズでさえ18H全部がそんなショットをしているわけではない。球聖といわれるボビージョーンズは「今日の調子を明日に維持することは大変難しい」という言葉を残している。

確かにその通りだと思います。私の体験から言うとその感覚というのは30代、40代、50代、60代、70代、80代と、どんどん変わっていきます。ですからゴルフ道には頂点が無い。これで征服したという征服感はおそらく死ぬまで満足できないだろうと感じています。

さて、10年ほどまえ日立で初心者ゴルフ教室というものを日立の教育委員会の市民教授として毎年60人ほどの生徒をあずかりゴルフを教えたことがございます。なかなか思うようには行かないものです。たまたまその時ボスニア・ヘルツェゴビナの和平工作に失敗して国連事務次長を辞した方の記者会見をテレビで見っていました。水のみ場に馬を連れて行くことはできるが馬が欲しなければ人は水を飲ませることは出来ない。そういうことだといっていた。つまり和平当事者が和平を望んでいないのに、いくら傍で和平を実現しようとしても所詮無理な話だよ。実はこれはイギリスの古い格言なんですね。そこでなるほど、そういえば現役のときのOJTで本人がその気にならせることが一番大事だよということ自分で言っていた。そのことをはっと気がついた。つまり動機付けこれをコーチである私と受講者との間に会話があって本当に覚えよう習おうという気持ちを高めないとやっぱり効果が現れないんだということ。

横道にそれますがOJTとは中国の言葉に事上磨錬という言葉があり、事の上立って練磨するそのものです。そういうことをしっかりやらないと教育の効果は上がらないんだなあと思いました。いかにコミュニケーションを大事にしながらレベルアップをしていくことが大事かと教えられました。かつて明治から大正にかけて財界のトップリーダーだった渋沢栄一は論語と算盤ということを行っています。何のことはない論語というのはまあ結局のところは人間として踏み外してはならない正しい道言うわけですから。つまりこの場合利を求めようとするならば義を忘れてはいけません。利というものと義というもののバランスが大事だと渋沢栄一は言ったのではないかと思います。

もうひとつ言っている言葉に、常に人の下手に出る

ものは商いを広げるものであるとも言っている。これは謙虚であることが大事だということです。私はゴルフを通じて謙虚の必要さを感じた一人です。先ず美しい自然があり、そこにゴルフコースを作り、そして最後にゴルファーという人間が登場するわけです。自然との係わり合いの中でそれこそ謙虚になってゴルフに徹しなければいけないと思っています。昨今若い方のゴルファーが増えまして、過去に問題があるのですけれどマナーやエチケットにホスピタリティーまで崩れてしまって私は非常に残念に思っている一人です。ゴルフは老若男女問わずさまざまななりわいの人たちとさまざまな価値観をもつ人たちとペアリングしてゴルフを楽しむ。ゴルフを通して人を見ることが出来る。つまりゴルフは自己表現の場なんです。と同時に自己追求の道しるべでもあり私は思います。そういう意味ではゴルフをしていたがゆえにお目にかかることも出来なかったような方とゴルフによってよしみを深めることが出来たのは幸いだったと思います。ゴルフウイドウで終わらした家内に対して申し訳ないと思うが、わが人生にこのゴルフ人生に悔いなしと思っています。ありがとうございました。

会長により謝辞、記念品贈呈し、 会長の点鐘にて終了

